

次代の農業を担う子どもたちが、農産物の流通、販売の現場を体験
北海道・JAふらの生産者の子どもたちが、地元産の野菜を販売
8月4日(月)さいたま市内のコープみらい3店舗にて実施します

コープみらい(本部:埼玉県さいたま市、理事長:田井 修司、事業エリア:千葉県・埼玉県・東京都)は、JAふらの(名称:ふらの農業協同組合、本店:北海道富良野市)が地元の野菜生産者の子どもたちを対象に実施している農作物販売体験に協力します。

8月4日に「コープ武蔵浦和店」「コープ南浦和店」「コープ浦和東店」(いずれも埼玉県さいたま市)で、JAふらの野菜生産者の子ども30名(予定)が富良野で作られた農作物を販売いたします。

JAふらののは、これからの農業を担う子どもたちに農業への関心を持ってもらうことを目的に、地元で作られた農作物がどのように流通、販売されているかを子どもたちに体験してもらう企画を毎年、JAふらののが主催する「ふら農っ子in東京」ツアー(2泊3日)の中で実施しています。今年は、コープみらい3店舗で子どもたちがJAふらの産のミニトマトやとうもろこしを試食宣伝するほか、商品の陳列作業などを行い、農作物がどのように消費者に届いているのかを体験します。

販売体験概要

実施日時:2014年8月4日(月)13:30頃~16:00頃 ※時間は店舗およびツアーバス到着時間によって変わります

実施店舗:「コープ武蔵浦和店」「コープ浦和東店」「コープ南浦和店」(埼玉県さいたま市)

実施内容:JAふらの野菜生産者の子どもたちによる富良野産農作物の販売・商品陳列などの実習体験

JAふらの概要

JAふらののは北海道の富良野市を中心に、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の6農協が1つになり、2001年2月に誕生しました。組合員戸数約1,890戸、作付面積約22,500haと北海道の中でも規模の大きな農協です。コープみらいでは、産直産地としてたまねぎやにんじん、かぼちゃなどを取り扱っています。

《生活協同組合コープみらい 概要》

ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5

【理 事 長】田井 修司(たい しゅうじ)

【組合員数】308万人(2014年7月20日現在)

【総事業高】3,629億円(2013年度)

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>